資料４７－２

Ｌアラート全国合同訓練２０２６
自治体報告概況について

一般財団法人　マルチメディア振興センター
Foundation for MultiMedia Communications

２０２６年１０月２８日

1．実施概況

（第46回諮問委員会資料より抜粋）

1．実施期間：2026年5月28日(木）～29日(金)

2．参加都道府県：47都道府県

・青森県は6/10(水)に実施（当初計画どおり）

3．参加組織数：　計1,891 （25年度実績：1,762）

＜内訳＞

・都道府県、市町村：1,826　　（1,693）　※出先機関を含む
・国（海上保安庁）：　1　　（1）
・通信事業者　　：　3　　（5）

※NTT西日本、NTTドコモ、ソフトバンクの３社が参加、KDDIは社内セキュリティの都合上により合同訓練用のPCが使用不可の為不参加、 NTT東日本に対しては不参加理由を確認中（7/6時点で回答なし）

・ガス事業者　　：　61　　（63）　※関連協会を含む

4．訓練情報発信件数：24,428件　（25年度実績：23,728件）

＜内訳＞

・避難情報　　：10,471件 （10,205）
・開設避難所情報　　：7,977件　（7,619）
・被害情報　　：　186件　　（267）
・災害対策本部設置状況情報　：3,418件　（3,360）
・お知らせ、イベント情報等　：2,376件　（2,277）

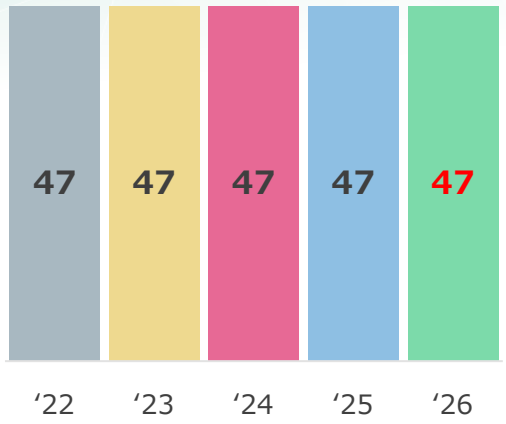
注：参加組織数については、各自治体が登録した「発表組織名」および「発表部署名」情報をもとに集計しています。また、登録内容に不備があるデータについては事務局判断にて補正を行っているため、実態と差異が生じている場合があります。訓練情報発信件数については、国、通信事業者、ガス事業者の実績を含みます。

All rights reserved ©FMMC 2026

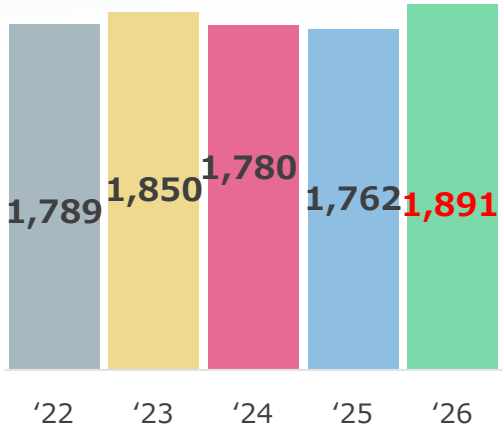
1．実施概況

（第46回諮問委員会資料より）

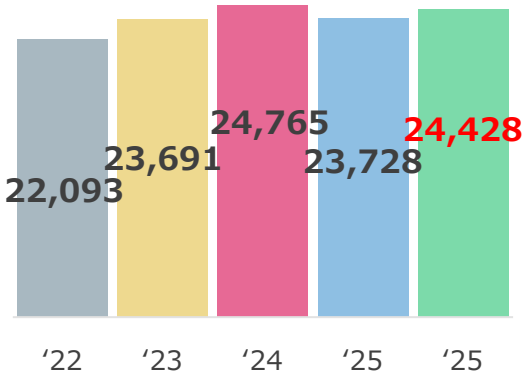
【 参加都道府県数 】



【 参加組織数 】

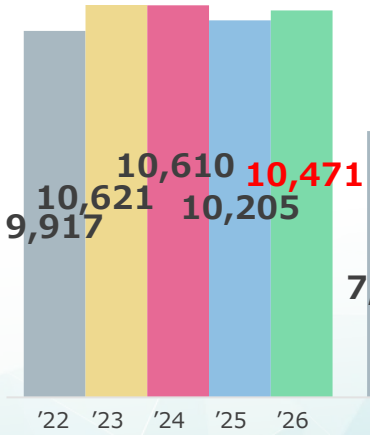


【 発信件数 】

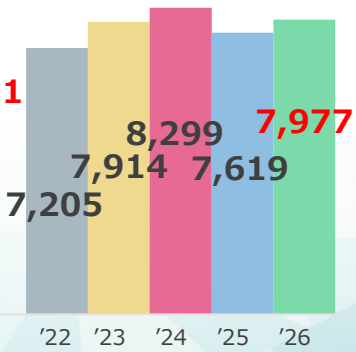


【 発信件数内訳 】

避難情報



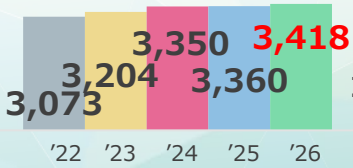
避難所情報



被害情報



災害対策本部
設置状況



お知らせ
（イベント含む）



All rights reserved ©FMMC 2026

2．各都道府県からの結果報告書等の回答状況

【1】都道府県から帳票提出実績

①実施調査票_実績版：41件（前回：41件）

→「代行入力取り組み“予定”」あり：16件（前回：13件）　※都道府県ベース、以下同様

→「代行入力取り組み“実績”」あり：14件（前回：14件）

②発信状況調査：15件（前回：18件）

→「Q6 代行入力について」

設問1（「市町村との取り決め」欄）に回記載あり　：1件（前回：0件）

〃 2（「市区町村との連絡体制・手段」欄）に記載あり　：1件（前回：1件）

〃 3（「防災情報システムへの入力方法」欄）に記入あり：3件（前回：1件）

③結果報告書：35件（前回：24件）

→代行入力に関連する記述あり：4件（前回：5件）

【2】次回合同訓練について

27年度の合同訓練については、総務省の主催の下、今夏に修正された防災基本計画を踏まえて地方公共団体等によるＬアラートを通じた災害関連情報等の迅速かつ正確な発信の一層の促進を図る観点から、例年と同様、出水期前に実施予定。

具体的な実施内容については、総務省に設置する有識者や利用者代表等による会議（運営諮問委員会の後継組織）において、委員からの多角的な意見を聴取して検討し、合同訓練をはじめ、都道府県担当者研修の内容の充実・向上に努める。　（総務省あて事前確認済み）

※防災基本計画（令和８年７月14日 中央防災会議決定、赤字が追記箇所）

「国、地方公共団体等は、情報伝達に当たって、防災行政無線、掲示板、広報誌、広報車等によるほか、放送事業者、通信社、新聞社等の報道機関及びポータルサイト・サーバー運営業者の協力を得るものとする。

その際、地方公共団体等は、Ｌアラート（災害情報共有システム）を通じた災害関連情報等の迅速かつ正確な発信に努めるものとする。」

All rights reserved ©FMMC 2026

２．各都道府県からの結果報告書等の回答状況

【2】都道府県からの主なコメント＜実施/結果報告書等より抜粋＞

	都道府県	記載内容
1	A県	当訓練とは別日で市町村初動派遣職員（LO）による代行入力訓練を例年行っている。今年度も６月２４日・２５日の２日間に分けて、全３５市町村に県派遣LOが出向いて、訓練付与カードに従って代行入力訓練を行うこととなっていた。６月２４日は、１２市町村により実施したが、６月２５日午前に発生した地震のため、残り２３市町村の実施は見送られることとなった。（中止・延期を含め実施未定）
2	B県	■代行入力に予定より時間を要した場合、その理由（自由記載） ・ 一覧からの入力機能を利用せず、避難所の名称、住所、対象世帯数等を新規に入力したため、入力作業に想定以上の時間を要した。 ・ 防災情報システムの操作に慣れていない職員に入力を依頼したため。 ・ 代理入力は普段することがないので確認の手順の把握に手間取った。 ■ 実災害で代行入力を行う場合の懸念点（自由記載） ・ 実際の災害時では市町職員が災害対応で入力の暇がない場合、県職員が市町に聞き取りし入力することになる。そうした場合、電話等でのやりとりでは市町の正確な状況がわからないので、入力に不安を感じる。 ・ 被害に関する情報を聞き取って代行入力する場合、システムに入力した情報が報道にも提供されるため、市町から公開可能な情報を正確に聞き取ることが難しい。 ・ 平時に当該システムを使用する機会が少ないため、入力ミスや操作誤りにより情報の錯誤や対応の混乱が懸念される。
3	C県	代行入力について、各県事務所から遅滞なく避難情報等の入力をすることができた。
4	D県	県の防災情報システムが改修されて初めての訓練であったため、市町村が操作を確認することを優先し代行入力を実施しなかったが、次回の訓練では代行入力の実施を検討したい。

All rights reserved ©FMMC 2026

参考：提出書類フォーマット（抜粋）

参考：提出書類フォーマット（抜粋）

■Lアラート全国合同訓練２０２６ 実施調査票

都道府県名				
予定/実績		記入例	予定	実績
訓練前の自治体向け都道府県防災システム操作訓練（研修）		○		
自治体数	参加市区町村数	40		
	不参加市区町村数	0		
	不参加市町村名 不参加理由	○○町（○○のため）		
発信情報 （該当の場合○）	避難情報	○		
	避難所情報	○		
	被害情報	○（県のみ）		
	お知らせ	○		
	その他	○		
	その他の発信情報内容	災害対策本部・設置 被害情報		
住民への訓練に関する周知の有無	実施する（該当の場合○）	○		
	具体的な実施方法	県ホームページ		
発信情報の確認方法 （該当の場合○）	Lアラートビューワ	○		
	県防災システム	○		
	データ放送	○		
	その他の確認方法			
代行入力	代行入力の取組み	○		

都道府県_発信状況調査票

【都道府県名】 ○○県

【基礎情報】

Q1 訓練での発信信数

A1 避難情報の発信件数 件

避難所情報の発信件数 件

Q2

A2

Q3

A3

【要

Q4

Q6 代行入力について

代行入力についてお聞きします。

今回の訓練で代行入力に取り組まれた（机上での取り組み（検討）も含みます）都道府県のみお答えください

	質問	回答
h-1	市区町村との取り決め（例：要請手順、役割分担、入力する情報種別、引継ぎ方法（渡し時、戻し時））について、課題等がありましたらお教え願います。	
h-2	市区町村との連絡体制、連絡手段（例：電話、防災行政無線）について、課題等がありましたらお教え願います。	
h-3	防災情報システムへの入力方法（例：入力部署、入力端末等）について、課題等がありましたらお教え願います。	

結果報告書のフォーマットは任意

All rights reserved ©FMMC 2025

All rights reserved ©FMMC 2026